

荒井平氏が旭日双光章

平成19年秋の叙勲伝達式が11月5日、県公館で行われ、荒井平氏（健武）が旭日双光章を授与されました。

荒井氏は39年余の永きにわたり馬頭町議会議員として町政の振興と発展に貢献され、さらに、那珂川町誕生に尽力されました。その実績が認められ、受章されたものです。



教育長に桑野正光氏

教育長の任期満了による教育委員会が12月29日開催され、教育長に前なす風土記の丘資料館長の桑野正光氏（旧馬頭町出身）が互選されました。



民生委員・児童委員は生活に困っている人、児童、障害者、高齢者等のことで問題をかかえている方々に相談、援助、情報提供を行う皆さまの相談役です。

この民生委員・児童委員が12月1日付けで厚生労働大臣から委嘱されました。どうぞよろしくお願ひします。（敬称略）

山田 豊子 (新町上)	阿久津 紀子 (新町下)	寛 良夫 (室町)	荒井 照通 (南町)	笹沼 之子 (田町1)	川上 英子 (田町2)	深澤 茂樹 (田町3)	生井 ヒロ子 (田町4)	大金 君子 (片根)	岡田 悦子 (健武下)	佐藤 フキ (健武上)	菊池 善昭 (矢又下)	大金 和子 (矢又上)	鈴木 篤 (和見下)	酒主 けい子 (和見上)	大森 茂 (小見下)	森 清一 (小見上)	稲澤 フク (北瀬)	齋藤 圭子 (久那瀬)	大門 八重子 (松野)	平塚 ふみえ (富山下)	高野 洋子 (富山上)	星 和子 (盛山)	岡本 輝 (谷川)	横山 昇 (大内下)	横山 昇 (大内上)	大金 一重 (大内上)	笠井 和枝 (大那地)	大金 良一 (大山田下郷下)
-------------	--------------	-----------	------------	-------------	-------------	-------------	--------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	--------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-----------	-----------	------------	------------	-------------	-------------	----------------

民生委員・児童委員が委嘱されました

益子 勝行 (大山田下郷上)	菊池 榮 (大山田上郷下)	堀江 勝美 (大山田上郷上)	笹沼 喜一 (小砂下)	藤田 亨 (小砂上)	川上 則子 (第1区)	佐藤 勉 (第2区)	薄井 イツ子 (第3区)	山本 一枝 (第4区)	小泉 トヨ (第5区)	和地 一夫 (第6区)	堀江 喜代美 (第7区)	荒牧 スミ子 (第8区)	永森 博 (第9区)	瀧田 敏夫 (第10区)	塚原 ヤエ (第11区)	秋元 義美 (第12区)	大森 愛子 (第13区)	伊藤 妙子 (第14区)	主任児童委員	鈴木 ハルエ (馬頭中管内)	露久保 輝雄 (馬頭東中管内)	佐々木 文子 (小川中管内)	問い合わせ 健康福祉課	支所健康福祉課	0287-92-1119	0287-96-2115
----------------	---------------	----------------	-------------	------------	-------------	------------	--------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------	----------------	-----------------	----------------	----------------	---------	--------------	--------------

那珂川町再発見 日本再発見

ケビン ブラックバーン

第3話 「初心と歓喜」

馬頭町と小川町の合併を初めて聞いた時、なぜ皆さんが騒いでいるのかよく分かりませんでした。両町は共通点が多く、かなり似ていると思ったからです。

しかし、合併をした後、僕の考え方が変わりました。やはり、両町の町民は細かいところにこだわります。細かいところはそれぞれの町民にとって重要なことで、「馬頭町の文化」と「小川町の文化」をつなぎ、「那珂川町の文化」を築くことができるのかと心配しました。

でも、その心配は今年の春に吹き飛びました。4月から、僕は「那珂川町第九を歌う会」に入り、毎週ベートーベンの第九交響曲の「歓喜の歌」を練習しています。練習場所は小川地区内の施設で、会員は小川地区と馬頭地区の町民を中心とし、他市町村からの会員も数名います。

当初、「旧小川町民」と「旧馬頭町民」の意識があったと思いますが、夜7時半に練習が始まると、皆さんの気持ちが切り替わります。慣れていないドイツ語の発音やベーター

ベンの複雑な音楽に皆さんは集中し、夜9時に練習が終わる時には、マラソンを走り終わったばかりの選手同士のよ

うな気持ちで別れます。先日、男性会員は親睦会を開き、かなり盛り上がりました。我々はようやく「那珂川町民」になりました。

日本では、「初心に戻る」とよく言われています。第九会員は大半が第九を初めて歌っていて、まるっきり初心者です。何とか、今月のコンサートに間に合うように我々は喜んで練習しています。これは不思議なことですが、西洋文化で貴重な文化である第九交響曲を通して、那珂川町民による新しい町文化が生まれています。

那珂川町を再発見するため、僕は心の準備が必要でした。初心に戻り、僕はやっと那珂川町を再発見し始めました。

よく考えると、12月16日に歌う「歓喜の歌」の歌詞に支えの言葉が隠れているかもしれません。

歓喜… あなたの寄しき力は
時の流れが厳しく切り離れた物を
再び結び合わせ
あなたの柔らかな翼のとどまるどころ
全ての人々は兄弟になる



ひばり幼稚園（馬頭中）



道の駅アイス工房武茂の郷（馬頭中）

マイ・チャレンジ



ケーブルテレビばとう（馬頭中）

この体験学習は地域の人々とのかわりを通して、ともに生きる力や感謝の心を育み、自己の在り方を見つめてもらおうと毎年行われているもので、生徒たちが町内の各事業所に出向き職場体験をするものです。
今回は、中学2年生226名が84事業所で体験学習しました。

将来に向けて自らの職業について考えてもらおうと、小川中学校の生徒が11月5日から9日まで、馬頭中学校と馬頭東中学校の生徒が11月12日から16日までの5日間、「マイ・チャレンジ」を実施しました。



那須小川ゴルフクラブ（小川中）



かたくりの郷（小川中）



わみや（馬頭中・馬頭東中）



ケーブルテレビばとうによる「わみや」の取材
（馬頭中・馬頭東中）



小砂焼市川窯（馬頭中）